

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	自動車修理工場		所在地	岡山市南区当新田482-2	
敷地面積	1,065.00 m ²		棟数	7 棟 (計画記載対象 1 棟)	
延床面積	595.57 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	警察車両の修理を行う施設				
【想定される自然災害】					
予想震度 6強		津波 0.01m以上0.3m未満		浸水 1.0m以上2.0m未満	
建築規制	市街化区域、第1種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2018年度)	電気 1,551 kwh	ガス - m ³	水道 - m ³	燃料 (-) - ℓ	
管理上の特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし				

1 施設内建物の概況

名称	整備作業場棟				
築年(西暦)	1971年				
構造	鉄骨造 1階				
建築面積	229.84 m ²				
延床面積	229.84 m ²				
主要な用途 (室名等)	車庫 229m ²				
主要な設備 (屋外を含む)					
利用状況	高				
耐震性 ※1					
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2				
	中性化 ※3				
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適			
	地盤沈下 ※5	適			
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁				

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜:有る場合は不適 ※5 地盤沈下:有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

予防保全を図りながら、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
整備作業場棟	・予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

予防保全を図る。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
整備作業場棟	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

--